



宜野湾市長 佐喜眞 淳

輝かしい希望に満ちた新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

また、旧年中は本市政への御理解と御協力を賜わり、心より御礼申し上げます。

昨年の本市の重大ニュースとしては「キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）」の返還がありました。面積約157haのうち約51haが返還され、その跡地利用については「国際医療拠点を核とした都市機能と水・みどり、文化の調和した住環境が広がるまち」をコンセプトに、特色あるまちづくりを目指して跡地利用計画を策定いたしました。同地区においては拠点返還地として国の支援を受けながら「健康都市宜野湾」にふさわしい国際医療拠点の形成に向けて、国と沖縄県、琉球大学とともに取り組んでおり、今後返還される普天間飛行場の跡地利用に繋がるようなまちづくりを進めてまいります。

また、琉球大学とは昨年「包括連携協定」を締結いたしました。相互に連携・協力を図り、地域社会の発展と人材育成及び学術の振興に寄与し、宜野湾市の将来都市像である「市民が主役の『ねたて』の都市・ぎのわん」



宜野湾市議会議長 大城 政利

明けておめでとございます。

市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は市議会活動に対し、温かい御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は日本各地で自然災害が多発した年でした。震度5レベルの地震が頻発、さらには口永良部島・桜島・箱根などの火山活動も活発化し、改めて自然の猛威を実感し、防災対策の重要性を考えさせられた年となったのではないのでしょうか。

本市におきましては、主要事業でありますキャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）の返還跡地利用計画も着実に進捗を見ており、未来に繋がるまちづくりに向け、市議会としても行政当局との連携を深めながら、取り組んで行く所存でございます。

また、西海岸地域におきましては、観光・商業施設の充実、スポーツイベント、祭りなど多彩な催しが行われ、市民・県民・観光客が賑わう地域として目覚ましい発展を遂げており、今後も更なる発展を期待しております。

の実現に資するとともに健康都市としてのまちづくりを推進してまいります。

市民生活の向上を図るため、現在、地域公民館の建設や公園整備、児童館の設置、新設学校給食センターの建設などに取り組んでおり、さらに20年以上休止していた市道宜野湾11号道路整備事業については、いよいよ工事に着手してまいります。

子育て支援については、安心して子育てのできるまちづくりを目指して、平成28年度からこども医療費助成事業を小学校6年生まで年齢を拡大し、小学校給食費助成事業については、継続して給食費の半額を助成してまいります。

米軍普天間飛行場問題については、返還合意の原点は危険性の除去と基地負担軽減であることから、固定化を絶対に許さず、一日も早い閉鎖・返還の実現を求めるとともに、その間の危険性除去及び負担軽減を目に見える形で着実に実施するよう日米両政府に対して求めてまいり所存です。

本年も、市民一人ひとりが幸せを感じられるような宜野湾市を創りあげてまいりたいと存じますので、市政運営に対する御理解と御協力を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様の御健康と御多幸を祈念申し上げます。

平成28年1月吉日

宜野湾市長 佐喜眞 淳

しかしながら、米軍基地普天間飛行場の危険性除去及び早期返還問題は、混迷を深めています。市議会といたしましても、過重な基地負担の軽減を図り、安全で安心して暮らすことのできる「宜野湾市」づくりに取り組んでまいります。

現在、議会では、市民の皆様からの意見を幅広く取り入れ、皆様のニーズに合った議会づくりを目指すと同時に、議会での活動内容を積極的に発信し、より公開性・透明性を高め、市民の皆様に関心され信頼される議会を目標に「議会基本条例」の制定に取り組んでおります。

これは、議員の基本的な活動内容や責任などを条例に定めることで、議員の資質向上を図り、議員間で議論を深めながら、積極的に政策提言・政策立案のできる議会を目指すものです。「議会基本条例」の制定をとおして、また、本市の将来都市像として掲げております「市民が主役の『ねたて』の都市ぎのわん」の実現を目指して、市民の皆様と共に精いっぱい努力していく所存でありますので、今後とも一層の御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、2016年「申年」が市民の皆様にとりまして、素晴らしい年になりますよう、皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

平成28年1月吉日

宜野湾市議会議長 大城 政利



西普天間住宅地区 返還式



琉球大学との包括連携協定締結式